



日本共産党 池 浜 あけみ 26
デジタル化の懸念への対応

問 デジタル化はスマホ依存による健康被害や国へのデータ集約による情報漏えい、市独自施策の後退を招きかねない。市のデジタル化への対応は。

答 市長 わが国全体が人口減少を迎える中、多様な住民ニーズへの効率的な対応と持続可能な行政運営を両立するためには、デジタル化への対応は欠かせない。多くの人が

個人情報等の取り扱いを懸念していること等は承知している。デジタル化でもたらされる利便性や効率化の側面と、情報管理の安全性や安定性の側面とのバランスを取りながら、いかに本市に即した行政サービスを提供するかが重要であり、最適なバランスを見極めながら取り組んでいきたい。

副 デジタル化の影響



日本共産党 川 口 知子 27
感震ブレーカーの普及を

問 過去の大震災で火災原因の6割が電気に関係するものだった。通電火災を防ぐため、感震ブレーカー設置を支援する制度について市の考えを伺う。

答 設置の支援制度創設については、財政状況等も考慮しつつ、他市の事例を参考にしながら、調査・研究していきたいと考えている。

副 危機管理監 感震ブレーカーの設置は、地震時における電気火災を防止し、地域における被害を軽減する効果があるものと考えている。

このため、感震ブレー



副 防災のまちづくり
副 コロナ禍の保育所



日本共産党 柿 田 有 一 28
行政の大切さを市長に問う

問 新型コロナウイルスや相次ぐ災害への対応を通して行政の重要性が再認識された。市長は現場で仕事を担う職員たちに、4期目に臨んで何を語ったのか。

答 市長 より厳しい財政状況の中での出発なので、行政改革に取り組み、コロナ禍を乗り越えるため、感染拡大を収束させ、経済等を維持することに注力する旨や、市制施行1

00周年の記念事業の準備を進めていかなければならない旨を話し、環境政策に力を入れていくこと、社会資本マネジメントをしっかりと行うこと、限られた財源等で最大の効果を発揮することなどを話し、職員と共に、市民のための施策を進めていきたい旨を伝えた。

副 市長の政治姿勢
副 超高齢社会の課題



清 令 会 矢 部 節 29
プラスチック削減で循環型社会

問 自然界で永久不滅に存在し続け、人体に悪影響を及ぼすプラスチックごみを削減するために、バイオマス配合のごみ袋を導入するべきでは。

答 率先してバイオマス配合のごみ袋を導入することで、地球環境にやさしい活動の事例として、市民に身近に感じてもらえるものではないかと考えている。今後は、ごみゼロ運動等で使用されるごみ袋について、バイオマス配合とすることについて検討していきたい。

副 環境部長 バイオマス配合のごみ袋については、植物由来の資源で作られているため、従来のごみ袋と比較し、プラスチック製品の石油資源を節約することができ、また、

副 プラスチックごみ削減
副 包括外部監査報告対応

議会情報

新議員を紹介します

1月24日執行の川越市議会議員補欠選挙の結果、次の議員が当選しました。

議席番号 第3番
氏名 倉嶋 真史
住所 広谷新町29番地12
所属委員会 総務財政常任委員会
所属党派 政晴会



総務財政常任委員会

2月5日、倉嶋真史議員を委員に選任しました。

議席の決定および変更

2月19日、次のとおり決定・一部変更しました。
倉嶋 真史議員 第3番
樋口 直喜議員 第9番
明ヶ戸亮太議員 第10番
嶋田 弘二議員 第11番



開催会場

発行 川越市議会
編集 川越市議会広報紙
編集委員会
電話 049(224)6067

編集後記

今定例会では、令和3年度一般会計予算など64件を審議、議決しました。一般質問に29名が登壇し、活発な議会となりました。ネット中継もご覧下さい。今後市民の皆さまへ、情報を伝えてまいります。(小林 薫)

傍聴

今定例会の傍聴人数は19名でした。新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、傍聴はお控えください。

議場コンサート

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、今定例会における開催を見送りました。

点字版および音声版の議会だよりを発行しています。送付を希望する方は、議会事務局(049-224-6067)までご連絡ください。